

暮らし方を

はじめまして、八女に暮らしています

選ぶ Style 2





地域のつながりを大切にしている中村さん「自然に囲まれた環境で、ご年配の方々から子供たちまで様々な料理教室を行っています。」



Style 2

中村 忠和さん

東京都から移住

「元氣クリエイト（薬膳料理）」

HISTORY

出身地

東京都葛飾区

移住元

東京都

移住年

2011年

職業

シェフ（薬膳料理）

年代

40代

家族構成

本人・妻・長女（6ヶ月）

新規起業型

廃校を利用している施設で行われる、月に一度のセミナー。毎回お越し頂く方も多く、日々の健康相談会ともなっています。地元での教室はとてもアットホームな雰囲気です。

選べるライフスタイル

八女市上陽町

八女市街地から車で15分程度に位置する上陽町。清流星野川に架かる石橋群が町のシンボルです。シーズンには桜やヒマワリが咲き誇り、初夏にはホテルが乱舞する美しい場所です。旧小学校跡地を活用した「みんなの館」は、高齢化や人口減少が進む中山間地において、地域の拠点として都市部との交流や地場産業の活性化等に取り組んでいます。



中村さんと料理教室の生徒さんたち

「食と自然でみんなを元気にする」という夢があり、薬膳を通して少しずつ広がって行ければと思っています。今後子育て中のお母さんを中心に、たくさんの方々を「薬膳の知恵」で元気にしていきたいと思っています。

現在、拠点とさせていただいている上陽町「みんなの館」では、田舎ならではの体験ができるイベントや自然の恵みを活かした教室などを毎月、季節に合わせて開催しています。

ご興味のある方、まずは八女に遊びにきてください。

「おかえりなさい」の言葉がずっと心に残っていました。ここに暮らしているのは、この土地のすばらしい自然と人に出会ったからです。

八女市上陽町をはじめ訪れたのは、廃校活用施設の「みんなの館」で開催する薬膳セミナーのためでした。2度目にみんなの館を訪れたときに「おかえりなさい」って言ってもらって、なんとというか、あつたかいものを感じたんです。それがなんとなくずっと心に残っていました。本格的に薬膳の仕事がしたいと思っていたところ、みんなの館を運営しているごま福祉会の理事長さんが、「じゃあ、みんなの館に住んで、やってみたら？」と言ってくれて、当時は結婚もしてなくて身軽だったということもありますが、人の縁ですよね。

それに、自然が豊かなところも気に入っていました。

私がやっている薬膳とは、いわゆる漢方薬を使うことではなく、野菜などの素材が持つ力（栄養や効果）を活かしていくことなんです。薬膳を考えたときに、この自然の中で伝えられたらいいなって思っています。周りに野菜など作られている方がたくさんいらっしゃるのので、手に入る食材が良いということもありました。

なにより妻と出会えたことが移住してきて良かったことですね。

ここにきて、からだを整うことを体感できた。田舎の暮らしはコンビニまで遠いし、かなり不便なんですけど、そのおかげで夜ちよつとお酒やつまみを買に行こうか思わないんですよ。夜、周りは闇のように真っ暗だし、そうしたら、自然と早く寝るようになっていきました。それまで都会に住んでいた私にとって、この土地での体験は、カルチャーショックのようなものでした。便利などころでは分からなかったけれど、暮らしているうちに自分のからだを整うということを実感し、その体験ができたということがとてもよかったです。

薬膳セミナーでは「おいしくて、楽しくて」ということを心がけています。「自分も楽しみたい」と思っていて、今は子どもも生まれたので山に行ったり、家族と食事を楽しんだりしています。食事を楽しむために、家族といるんなら自然食のお店などに出かけることもあります。

八女に来て夢をつかんでほしい、かなえてほしい。地域の人たちのルールや人との繋がりを大事にしています。これから、みんなの館が、本当の意味でみんなが集まる場、交流の場としての「みんなの館」になるように、この場所で八女に住もうと思っている人の受け入れや支援がしたいなと思います。

空いている部屋もあるので、実際に滞在して、地域を知ってもらおう。料理を志すのであれば、教えることもできるし、農業がしたいのであれば農業研修を引き受けてくれる人を紹介することができるといい。地域と新しい人の繋がりを作り、この場所から新しいチャンネルができるようにして行く予定です。

ここで暮らし続けたいと思っているので、そうすることで地域が元気になっていくと、いずれは自分の子どもへとかえってくると思っています。